

平成25年(2013年)7月の結果 (二人以上の世帯)

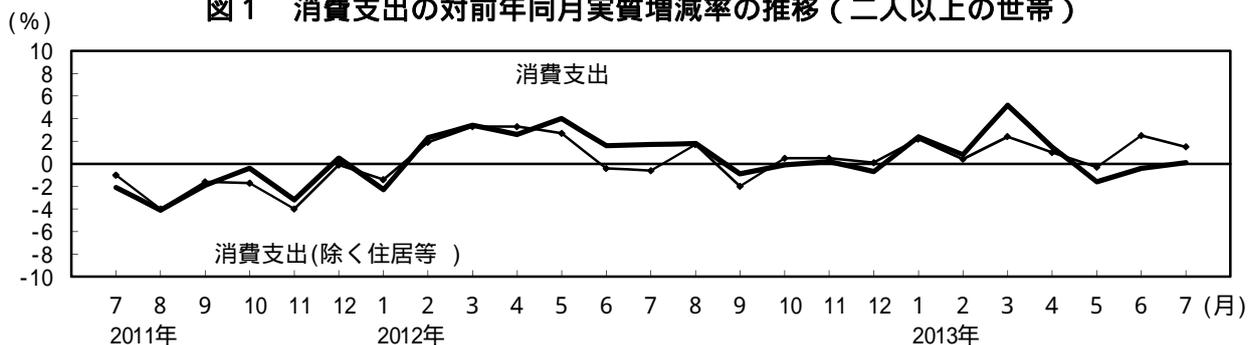
二人以上の世帯

消費支出は、1世帯当たり	286,098円		
前年同月比	実質0.1%の増加	前月比(季節調整値)	実質0.9%の増加
	名目1.0%の増加		
消費支出(除く住居等)は、			
前年同月比	実質1.5%の増加	前月比(季節調整値)	実質0.4%の減少
	名目2.4%の増加		
うち勤労者世帯の実収入は、	うち勤労者世帯の消費支出は、		
前年同月比	実質1.3%の増加	前年同月比	実質1.6%の減少
	名目2.2%の増加		名目0.7%の減少

：「住居」のほか、「自動車等購入」、「贈与金」、「仕送り金」を除いている。また、実質化には消費者物価指数(持家の帰属家賃を除く総合)を用いた。以下同じ。

1 消費支出の推移

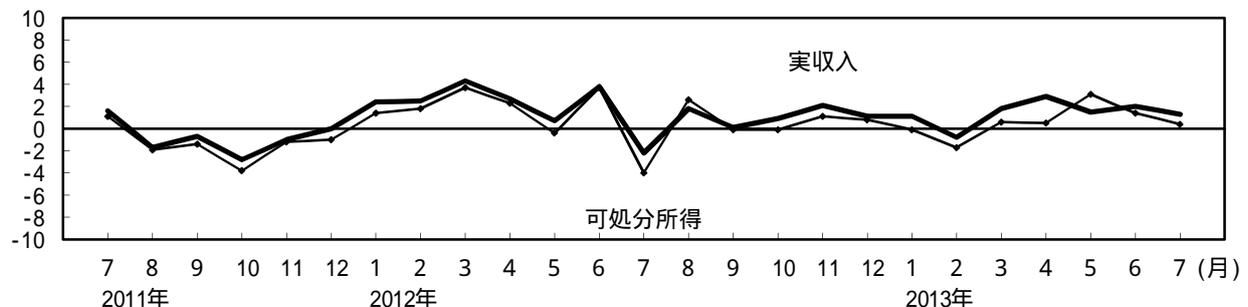
図1 消費支出の対前年同月実質増減率の推移(二人以上の世帯)



	2012年						2013年						
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
消費支出	1.7	1.8	-0.9	-0.1	0.2	-0.7	2.4	0.8	5.2	1.5	-1.6	-0.4	0.1
消費支出(除く住居等)	-0.6	1.7	-2.0	0.5	0.5	0.1	2.2	0.4	2.4	1.0	-0.3	2.5	1.5

2 勤労者世帯の収入の推移

図2 実収入及び可処分所得の対前年同月実質増減率の推移(二人以上の世帯のうち勤労者世帯)



	2012年						2013年						
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
実収入	-2.2	1.8	0.1	0.9	2.1	1.1	1.1	-0.8	1.8	2.9	1.5	2.0	1.3
可処分所得	-4.0	2.6	-0.1	-0.1	1.1	0.8	-0.1	-1.7	0.6	0.5	3.1	1.4	0.4
消費支出	1.5	0.9	0.6	0.7	1.8	2.2	4.1	2.7	7.6	1.1	1.4	0.9	-1.6
平均消費性向	3.9	-1.4	0.7	0.6	0.6	0.7	3.6	3.3	6.3	0.5	-1.7	-0.2	-1.4

*：対前年同月ポイント差

3 消費支出とその内訳

表1 消費支出の内訳（2013年7月—二人以上の世帯）

項目	金額 (円)	対前年同月増減率(%)		実質増減率への 寄与度 (%)	摘要	備考
		名目	実質			
消費支出	286,098	1.0	0.1	0.1		3か月ぶりの実質増加
食料	68,308	2.9	2.8	0.66	<増加> 外食, 肉類など	5か月連続の実質増加
住居	18,387	-12.5	-12.1	-0.90	<減少> 設備修繕・維持, 家賃地代	3か月連続の実質減少
光熱・水道	18,954	5.7	-0.7	-0.04	<減少> ガス代	6か月連続の実質減少
家具・家事用品	13,152	8.2	10.3	0.44	<増加> 家庭用耐久財, 家事用消耗品など	4か月連続の実質増加
被服及び履物	11,876	-0.4	-1.2	-0.05	<減少> 被服関連サービス, 和服など	6か月ぶりの実質減少
保健医療	12,757	-5.9	-5.3	-0.26	<減少> 保健医療サービス, 保健医療用品・器具など	5か月ぶりの実質減少
交通・通信	42,052	1.0	-1.6	-0.24	<減少> 自動車等関係費	4か月連続の実質減少
教育	8,460	-8.4	-8.9	-0.29	<減少> 授業料等, 教科書・学習参考教材	5か月連続の実質減少
教養娯楽	29,482	5.5	6.5	0.64	<増加> 教養娯楽サービス, 教養娯楽用品など	2か月連続の実質増加
その他の消費支出	62,671	1.8	(0.9)	(0.20)	<増加> 諸雑費, こづかいなど	2か月連続の増加

注1 「摘要」欄は、消費支出の実質増減率への寄与度の大きい項目を掲載した。ただし、「その他の消費支出」については名目増減率の大きい項目を掲載した。

2 「その他の消費支出」の実質化には消費者物価指数（持家の帰属家賃を除く総合）を用いた。

消費支出の実質増減率に寄与した主な中分類項目及び品目

中分類

品目

<増加項目>

実質寄与度

教養娯楽サービス	[0.53]	国内パック旅行費, 外国パック旅行費
家庭用耐久財	[0.51]	エアコンディショナ, 電気掃除機
諸雑費	[0.27]	装身具, 祭具・墓石
交通	[0.23]	鉄道通勤定期代, 航空運賃
外食	[0.16]	飲酒代, すし(外食)
肉類	[0.14]	豚肉, 牛肉

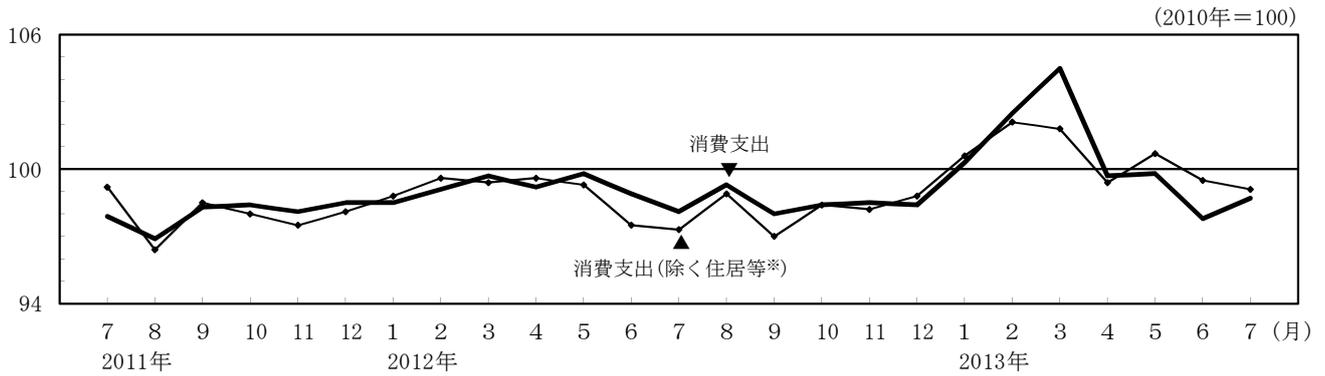
<減少項目>

設備修繕・維持	[-0.70]	設備器具, 植木・庭手入れ代
自動車等関係費	[-0.50]	自動車購入, 年極・月極駐車場借料
授業料等	[-0.36]	私立大学, 私立中学校
保健医療サービス	[-0.23]	他の入院料*, 歯科診療代
家賃地代	[-0.20]	公営家賃, 給与住宅家賃

注 主な中分類項目を寄与度順に掲載した。

* 「他の入院料」とは、「出産入院料」以外の入院料をいう。

図3 消費支出（季節調整済実質指数）の推移（二人以上の世帯）



	2012年						2013年						
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
消費支出	98.1	99.3	98.0	98.4	98.5	98.4	100.3	102.5	104.5	99.7	99.8	97.8	98.7
対前月変化率(%)	-0.8	1.2	-1.3	0.4	0.1	-0.1	1.9	2.2	2.0	-4.6	0.1	-2.0	0.9
消費支出(除く住居等*)	97.3	98.9	97.0	98.4	98.2	98.8	100.6	102.1	101.8	99.4	100.7	99.5	99.1
対前月変化率(%)	-0.2	1.6	-1.9	1.4	-0.2	0.6	1.8	1.5	-0.3	-2.4	1.3	-1.2	-0.4

注1 季節調整の方法は、センサス局法(X-12-ARIMA)を用いた。

2 季節調整値は、毎年1月結果公表時に、過去に遡って改定している。

4 勤労者世帯の収支

表2 収支の内訳（2013年7月—二人以上の世帯のうち勤労者世帯）

項目	金額 (円)	対前年同月増減率(%)		実質増減率への 寄与度 (%)	備考
		名目	実質		
実収入	569,174	2.2	1.3	1.3	5か月連続の実質増加
世帯主収入	479,229	1.7	0.8	0.63	2か月連続の実質増加
定期収入	351,463	1.2	0.3	0.18	3か月ぶりの実質増加
臨時収入・賞与	127,766	3.0	2.1	0.45	
配偶者の収入	66,956	3.9	3.0	0.35	20か月連続の実質増加
うち女性	66,579	4.6	3.7	0.42	21か月連続の実質増加
他の世帯員収入	11,955	21.0	19.9	0.35	2か月ぶりの実質増加
非消費支出	114,845	6.0	—	—	2か月連続の増加
可処分所得	454,329	1.3	0.4	—	5か月連続の実質増加
消費支出	310,387	-0.7	-1.6	—	18か月ぶりの実質減少
平均消費性向(%)	68.3	(前年同月) (ポイント差) 69.7 -1.4			季節調整値で見ると、73.7%で、前月に比べ、1.4ポイントの上昇となった。